

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公開番号】特開 2018-201742 (P2018-201742A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-108871 (P2017-108871)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 27 日 (2020.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検眼に照射された測定光と参照光による OCT 信号を検出する OCT 光学系を有し、前記 OCT 信号を処理することで被検眼の OCT データを取得する眼科撮影装置であって、

前記 OCT 光学系における前記測定光のプロファイルを変更する変更手段と、

前記変更手段によって、前記測定光のプロファイルを複数の互いに異なる第 1 プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、それぞれの第 1 OCT データを取得する取得手段と、

を備え、

前記変更手段は、前記取得手段によって取得された複数の前記 OCT データに基づいて、本撮影用のプロファイルとして前記測定光のプロファイルを前記第 1 プロファイルとは異なる新たな第 2 プロファイルに変更し、

前記取得手段は、前記第 2 プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、第 2 OCT データを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼科撮影装置において、

複数の互いに異なる第 1 プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に照射される前記測定光の光量を同一とする光量調整手段を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 3】

請求項 1 ~ 2 のいずれかの眼科撮影装置において、

前記被検眼に向けて照射光を出射して前記被検眼を照明する照明光学系と、前記被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系であって、前記 OCT 光学系とは異なる観察光学系と、

前記照明光学系における前記照射光のプロファイルを変更する第 2 変更手段と、

を備え、

前記第 2 変更手段は、前記照射光のプロファイルを前記第 2 プロファイルと同一のプロファイルに変更することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかの眼科撮影装置において、
前記変更手段は、DMDであることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 5】

被検眼に照射された測定光と参照光による OCT 信号を検出する OCT 光学系を有し、
前記 OCT 信号を処理することで被検眼の OCT データを取得する眼科撮影方法であって、

前記 OCT 光学系における前記測定光のプロファイルを変更する変更手段によって、前記測定光のプロファイルを複数の互いに異なる第 1 プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、それぞれの第 1 OCT データを取得する第 1 取得ステップと、

前記取得手段によって取得された複数の前記 OCT データに基づいて、本撮影用のプロファイルとして前記測定光のプロファイルを前記第 1 プロファイルとは異なる新たな第 2 プロファイルに変更する変更ステップと、

前記第 2 プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、第 2 OCT データを取得する第 2 取得ステップと、
を備えることを特徴とする眼科撮影方法。